

会 さいー夏休みだ！
 自然 昆虫博士と夜の
 自観 雑木林を探検しよう

今回の観察会は昆虫観察だ。いつもと違い、夜の雑木林がフィールドだ。参加者の多くは子どもたち。喜んでくれるかなあ。

7月30日、土曜日。午後6時。南平丘陵公園に親と子どもが集まってくる。

最初に日野みどりの推進委員の杉浦氏より観察会の説明と講師の紹介があった。

講師は以前にもお願いした昆虫博士の川那部氏。

観察会が始まった。最近はやがて豪雨のような雨がよく降る。今日の予報は良くない。最後まで持てば良いが。



昆虫博士の説明の後、広場で昆虫採集をした。どんな昆虫がいるのか、何種類ぐらい見つかるか。子どもだけではなく、大人も夢中で捕まえる。数十分後、集まって何が捕れたか確認してみる。バッタや小さな昆虫がほとんどだが、カブトムシを捕まえた子どもがいた。子どもたちの視線が釘付けになる。「ここにはいる！」

次はトラップ。白いシートを張りかけたところでとうとう雨が。今回は夕立だった。急遽シートを管理棟の屋根の下に張りなおし、ライトを当てた。カブトムシが来てくれると良いな。

飛んでくるのを待つ間、みんな夜の雑木林の探検に出かけた。まだ雨は上がっていない。足元も滑る。みんなは昆虫博士を先頭に1列になって歩いた。ライトで1本1本の木を照らしながら。10分ぐらい歩いたかどうか。前の方で「いたぞー」「カブトだ」という声が一番後ろを歩いていた自分にも聞こえた。後ろのほうにいた子どもも早く見たくてソワソワしている。ゆっくり進んで木を覗き



込むと、「いた。」

1匹だけど、赤茶色のカブトムシのオスがいる。木に力強くしがみつき、樹液を吸っている。他の木にはセミの幼虫がいる。ゆっくりゆっくり木を登っていく。

管理棟に戻るとトラップにもカブトムシが来ていた。カブトムシがどういう木にいるか、どんな時間に、どういうものを食べているのか。樹液の匂いはどうか。

そんなことを子どもたちは感じることができたのだろうか。観察会が終わる、みんなが帰っていく。楽しそうな会話の中に「お父さん、来て良かったね」と子どもたちの声が聞こえた。今回の観察会は「大成功」だと確信できた。

(S・N)

●シンポジウムを開催します●

浅川流域「川の恵みシンポジウム」～未来の子どもたちにつなげよう

日野市と八王子市が、両市を流れる浅川をひとつの流域と考えて連携事業を行っています。浅川の源流から多摩川合流点までをひとつの単位として捉え、浅川の水辺環境を創り出し、心豊かな流域のまちづくりを目指すために、皆で浅川の未来について考えてみませんか。浅川の未来をじっくりと考えてみたいと思っている皆様のご来場をお待ちしています。また、当日は、9月と10月に、両市でそれぞれ展示いたしました、あさかわ写真コンクール「私の好きな浅川」の市民投票の結果を発表し、表彰式を行います。あわせて、受賞作品をシンポジウム会場のロビーにおいて、展示いたしますのでお知らせいたします。

日 時 11月6日(日) **場 所** 八王子市 学園都市センターホール12階

基調講演 テーマ「川の営みを活かした川づくりと流域の水循環がもたらすもの」
 国土交通省 水管理・国土保全局
 治水課 技術調整官 内藤正彦氏

パネルディスカッション 「浅川を語ろう」過去・現在そして未来へ

※シンポジウム終了後に、あさかわ写真コンクール「私の好きな浅川」の表彰式を行います。